

美桑が丘

小中一貫 学校教育目標「未来につむぐ 自分らしさの創造」

校訓『創造敬愛』

下川町立下川中学校
令和8年度学校だより
第4号 R8. 7. 23 発行

1 学期を終えて

校長 永 井 真 二

本日で1学期の教育活動が終わります。入学式や体育祭、中体連、修学旅行(3年)、宿泊研修(2年)など多くの学校行事がありました。取組の中で、子どもたちには「失敗をしても大丈夫。安心して挑戦して。」と声をかけながら教育活動を進めてきました。全校集会の中でも、「失敗をしない唯一の方法は、何もしないことだ」と話しました。「準備しても思うようにいかないことがある。人生の中ではその方が多い。失敗ではなく、挑戦した成果なので自信をもって受け止めて。」とも伝えていきます。皆様にご協力いただいた学校評価の中で、「最後までやり抜こうとする気持ちをもって学習に取り組む」「学校生活は楽しい」の項目で85%以上の肯定的な回答がありました。2学期も引き続き子どもたちの自己有用感が高まる指導に取り組んで参ります。詳細は8月の学校だよりでお知らせします。

「10年後20年後どのような世の中になるか予測することは困難である」とAIの開発者は言っています。どのような社会であっても、失敗を恐れず、多くの人と協力しながら自分らしく活動できる人を育てることが、教育者の務めだと思っています。私たちは「子どもの自己決定を支える指導」「ファシリテーターとして子どもの活動に寄り添う教師」「子どもの好奇心を育み、何事にも挑戦できる学校」を目指して、日々研鑽に励んでいます。授業など万全の準備をして本番を向かえても、思うようにならないことが多いです。私たちも振り返りと実践を繰り返して、子どもたちと成長していきます。

終業式の中で、明日から始まる夏休みに向けて次のことを話しました。

- 1 1学期までの学習内容の復習を必ずすること。「分からない」「忘れた」内容を見直して2学期を迎える。
- 2 興味や関心のあることに、じっくり取り組むこと。
- 3 家事を自分から手伝える。人のためにできることをする。

特に3年生は、あっという間に進路決定の時期がやってきます。高等学校進学を目標にするのではなく、その先の就職や大学・専門学校等への進学を見通しながら「好きなこと」に精一杯取り組み、「得意なこと」をさらに伸ばしてほしいと思っています。

最後になりましたが、保護者や地域の皆様のご理解とご協力のおかげで、無事に1学期の教育活動を終えることができました。教職員一同、深く感謝申し上げます。今年も厳しい暑さが予想される北海道です。皆様のご健康をお祈り申し上げますとともに、引き続き本校の子どもたちの見守りをよろしくお願いいたします。

■上川代表決定戦終了

7月3日(金)・4日(土)、上川代表決定戦が行われました。ソフトテニス、サッカーの2種目に本校の生徒が参加しました。

ソフトテニス部もサッカーも、さらに上の大会へつなげることはできませんでしたが、強豪相手に最後まで諦めずに堂々と戦い抜きました。

これまで積み重ねてきた努力は、部活動に限らず、これから様々な場面で生かしていけることと思います。選手の皆さん、お疲れ様でした。

中体連上川代表決定戦結果

【ソフトテニス】

- | | |
|-------|--------------|
| ○男子団体 | 予選リーグ惜敗 |
| ○女子団体 | 予選リーグ惜敗 |
| ○女子個人 | 菅野・野崎ペア 初戦敗退 |
| | 黒川・大池ペア ベスト8 |

【サッカー】

- | | |
|--------|------|
| ○名寄 SC | ベスト4 |
|--------|------|

■宿泊研修

7月7日(火)・8日(水)の2日間、2年生は小平町で宿泊研修を実施しました。今年のスローガンは「楽学両道」。楽しむことと学ぶことの両立を目指し、生徒たちは仲間と協力しながら様々な活動に取り組みました。

1日目は、小平町B&G海洋センターで海洋体験を行いました。普段なかなか経験することのできない活動に挑戦し、安全に気を付けながら仲間と声を掛け合って取り組みました。

夕方からは班ごとに調理実習を行い、カレーライスやフルーツポンチ作りに挑戦しました。役割を分担しながら協力して調理を進め、自分たちで作った夕食をおいしく味わいました。



夜には生徒企画のレクリエーションが実施され、学級の仲間との親睦をさらに深めることができました。

2日目は陶芸体験を実施しました。講師の方から説明を受けながら、皿やコップなど思い思いの作品づくりに取り組みました。また、道の駅おびらに隣接する国指定重要文化財「旧花田家番屋」を見学し、地域の歴史や文化について学ぶ機会となりました。

今回の宿泊研修では、時間を守ることや整理整頓、挨拶など集団生活の基本を実践するとともに、これからの学校生活や来年の修学旅行に向けての課題を発見することができました。生徒たちはスローガン「楽学両道」のもと、多くの学びと成長を実感した2日間となりました。



■おめでとうございます！

7月8日(水)、3年生の竹本祐那さんが「少年の主張」上川地区大会に出場し、見事、優秀賞を受賞しました。自らの体験を通して感じたことを率直に発表した点が評価されました。おめでとうございます。



■高校説明会

7月10日(金)、本校体育館において、2・3年生および保護者を対象とした「高校説明会」を開催しました。今回は、北海道名寄高等学校、北海道有朋高等学校、北海道下川商業高等学校の3校から担当の先生方をお招きし、各校の教育方針や学校の特色、学習内容、進路状況などについて詳しく説明していただきました。

生徒たちは熱心にメモを取りながら説明に耳を傾け、それぞれの高校の特色や学びの内容について理解を深め、自分自身の将来について考える貴重な機会となりました。

■参観日

7月15日(水)、第2回参観日を実施しました。今回は1・2年生を対象に授業公開を行い、保護者の皆様と下川商業高等学校からも多くの先生方に来校いただきました。1年生は総合的な学習の時間、2年生は国語や自立活動の授業を公開し、生徒たちが意欲的に学習に取り組む様子を参観していただきました。

授業参観後には、各学年でPTA主催の学年レクリエーションを実施されました。学年レクリエーションでは、保護者の皆様と生徒、教職員が交流を深める貴重な機会となり、和やかな雰囲気の中で親睦を深めることができました。学年PTA役員の皆様には、企画・運営にあたり多大なるご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。

1年生、森林環境学習成果発表



2年生、国語の授業の様子



■生活リズムアンケート結果

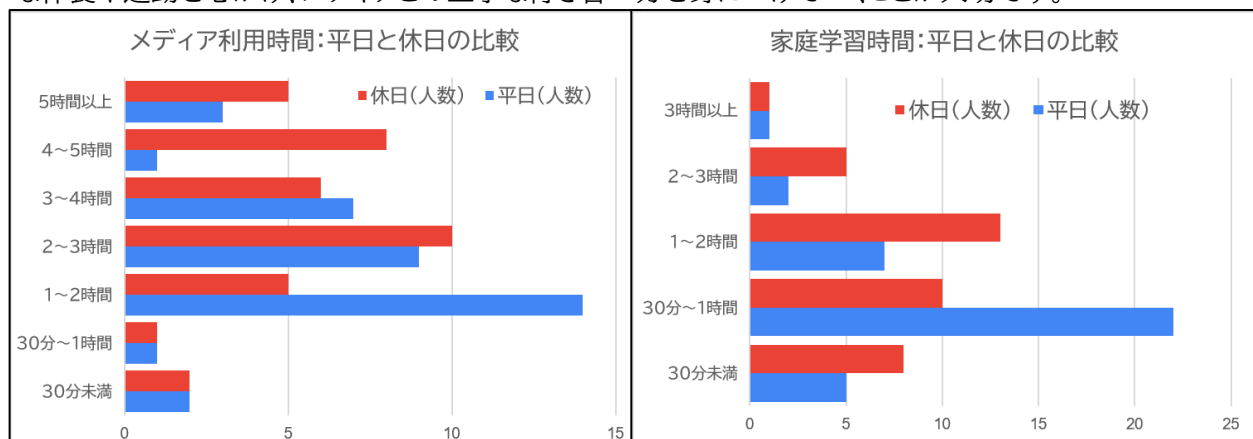
全校生徒を対象に生活リズムアンケートを6月末に実施しました。その結果から、生徒たちのよい点と今後の課題が見えてきました。

【よい点】

本校生徒は生活リズムが比較的整っており、平日の約9割が午後11時までに就寝し、約8割が7時間以上の睡眠を確保しています。また、「すぐ眠れる」「ほぼ眠れる」と回答した生徒も約7割おり、睡眠の質も良好です。朝食については、「毎日食べている」生徒が75.7%で、9割以上の生徒が習慣的に朝食をとっています。さらに、多くの生徒がフォーサイト手帳を活用し、スマホやタブレットによる学習時間不足や視力低下などの課題を自覚していることも、本校生徒の強みといえます。

【今後の課題】

平日の家庭学習時間は「30分～1時間」が約6割を占めており、学習時間の確保が今後の課題です。また、「勉強時間の不足」を心配している生徒も多くみられました。メディア利用については、休日に5時間以上利用する生徒もあり、長時間利用による学習時間の減少や体への負担が心配されます。また、「昼間眠くなることもある」と回答した生徒が多く、視力低下や肩こり、目の疲れなどを気にする声もありました。十分な休養や運動を心がけ、メディアとの上手な付き合い方を身につけていくことが大切です。



■夏休みを安全で充実したものにするために

明日から夏休みを迎えます。長期休業は、家庭や地域の中で過ごす時間が増え、自主性や豊かな人間性を育む貴重な機会です。一方で、生活リズムの乱れやインターネット上のトラブル、事故などが起こりやすい時期でもあります。北海道教育委員会からも、児童生徒の「命と心を守る取組」の充実について通知が出されています。

本校では夏休みを前に、生徒が安全で充実した毎日を送れるよう指導を行っています。特に、悩みや不安を一人で抱え込まず、家族や先生、友人、地域の大人など信頼できる人に相談することの大切さを伝えています。困ったときに助けを求めることは、自分自身を大切にしている行動です。

また、SNSやインターネットの利用については十分な注意が必要です。SNSを通じたトラブルや誹謗中傷、「闇バイト」への勧誘、オンラインカジノなどの危険性について理解し、安全な利用への心がけが必要です。ご家庭でも利用時間や利用方法について話し合う機会をもっていただければ幸いです。

■困ったときは相談してください

もし悩みや不安を抱えたときは、一人で抱え込まず、家族や先生など信頼できる大人に相談してください。また、次の相談窓口も利用できます。

名称	所管等	電話番号等	受付	概要
北海道子ども相談支援センター (24時間子供SOSダイヤル) (メール相談)	北海道教育委員会 (文部科学省)	0120-3882-56 (0120-0-78310) sodan-center@hokkaido-c.ed.jp	毎日24時間対応	いじめ、不登校、友人関係、親子関係、性的マイノリティ、性暴力の被害、家庭の事情で自分の時間がとれない、ヤングケアラーに関する事など、様々な悩みを相談できます。
ほっかいどうこどもライン相談	北海道教育委員会		令和8年5月18日～ 令和9年3月29日 の月曜のみ 17:00～22:00	いじめ、不登校、性暴力の被害など、様々な悩みを相談できます。 対象：中学生、高校生 左記以外の相談期間 5/1～5/12毎日17:00～22:00 8/6～9/16毎日17:00～22:00 1/7～2/1毎日17:00～22:00
児童相談所虐待対応ダイヤル	北海道保健福祉部 (厚生労働省)	189 (いちはやく)	毎日24時間対応	虐待の疑いがあるなど、虐待に関する悩みを児童相談所に通告・相談できます。
親子のための相談LINE	北海道保健福祉部 (厚生労働省)		平日9:00～17:00 (12/29～1/3除く)	いじめ、不登校、ヤングケアラー、虐待など様々な家族・家庭の相談ができます。
北海道いのちの電話	社会福祉法人 北海道いのちの電話	011-231-4343	毎日24時間対応	様々な悩みを相談できます。
こどもの人権110番	法務省	0120-007-110	平日8:30～17:15	いじめ・体罰等について、法務局職員・人権擁護委員に相談できます。
チャイルドライン	認定NPO法人 チャイルドライン ほっかいどう	0120-99-7777	毎日16:00～21:00 (12/29～1/3除く)	18歳までの子どもが電話・チャットで様々な悩みについて相談できます。

■国語科書写の乗り入れ授業を実施

6・7月に小学校の石神先生を講師に迎え、全学年で書写の乗り入れ授業を実施しました。文字の整え方や筆記具の使い方を丁寧に学び、生徒たちは休み時間も熱心に練習していました。小中の学びのつながりを感じる貴重な機会となりました。石神先生、ありがとうございました。



8月の予定

- 2日(日) 吹奏楽コンクール地区大会
- 8日(土) 下川神社祭(吹奏楽部出演)
- 12日(水) 学校閉庁日(～14日)
- 18日(火) 職員会議
- 19日(水) 2学期始業式、校内研修
- 21日(金) 岐阜県郡上市中学生 10 名訪問交流
- 24日(月) 1・2年テスト前学習会(～28日)
- 25日(火) 諸費納入日
- 26日(水) 上教研第3回班研修
- 28日(金) 1・2年学力テスト、常任委員会

■学校閉庁日期間について

本校では、教職員の心身の健康を保持するため、学校閉庁日を設定しています。期間中にお子様の事故や大きなけが、災害等の緊急事態が発生した場合は、下川町教育委員会教育課(☎ 4-3500)へご連絡ください。